

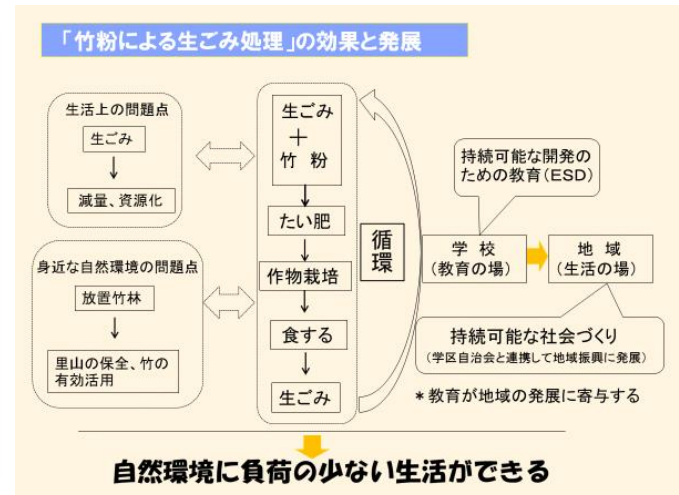
# 静岡市環境大学2018 講座報告 7日目

## 演題：ESDの実践 ～生ごみ減量と放置竹林～

(一財) 静岡市環境公社 顧問 重岡廣男 様

場所：しずもーる沼上3階研修室

日時：平成30年9月8日（土）13時00分から15時00分まで



## 講義のポイント

### 要点1：ごみの背景の環境問題

- 大量生産・大量消費・大量廃棄はごみ問題と地球環境問題をもたらした。
- 主たる家庭系可燃ごみ（生ごみ・紙ごみ・プラスチック）の背景にある環境問題を紹介。
- 生ごみは食品ロスなどの種問題を、紙ごみは再生紙の現状を、プラスチックはマイクロプラスチックとして海洋問題となっていることなどを解説。

### 要点2：身近な自然環境の変遷と住環境

- 社会環境が変化する中で住環境を取り巻く身近な自然環境にも変化が見られるようになった。
- 一次産業が低迷する中で、人の手が入らなくなった里地里山などの自然環境は荒廃してきた。
- 特に外来種であるタケなどの繁殖力旺盛な種が住環境にも迫り、種々の問題を引き起こしている。

### 要点3：生ごみと竹林問題を学習として取組む

- ESD（持続可能な開発のための教育）の実践として「生ごみと竹林問題」を小学校などの教育機関において展開している現状を紹介した。
- 継続した学習支援活動が地域社会づくりにつながってきた事例を紹介した。
- 本取り組みを市民へ周知し、生ごみ竹粉堆肥の活用なども紹介した。

## 受講生の感想など

- ★竹粉には色々な可能性がありそうです。レポートで考えてみようと思います。
- ★放置竹林問題には興味があったので竹粉の利用は活用すべきだと思う。
- ★もっと活用方法が増え市民が身近に取り組めたらよいと思う。
- ★放置竹林の伐採と搬送が課題になるかもしれない。